

# 調 査 の 要 領

## 1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

## 2 調査時期

毎 月

## 3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

## 4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

## 5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

## 6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

## 結果の概要

### 1 漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 概況（第1表）

令和6年の青森県の漁獲数量は11万7,930トンで、前年に比べ1,283トン（1.1%）増加した。前年と比較して増加した主な要因は、「まいわし」、「さば」の漁獲数量が増加したため。

漁獲金額は341億7,545万円で、前年に比べ29億5,825万円（8.0%）減少した。前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」の漁獲金額が減少したため。

#### (2) 過去5年間の平均との比較（第2表）

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では3万2,411トン（21.6%）減少し、漁獲金額では28億3,982万円（7.7%）減少した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」（漁獲数量対平年比193.6%）、「にじます」（192.2%）等であった。

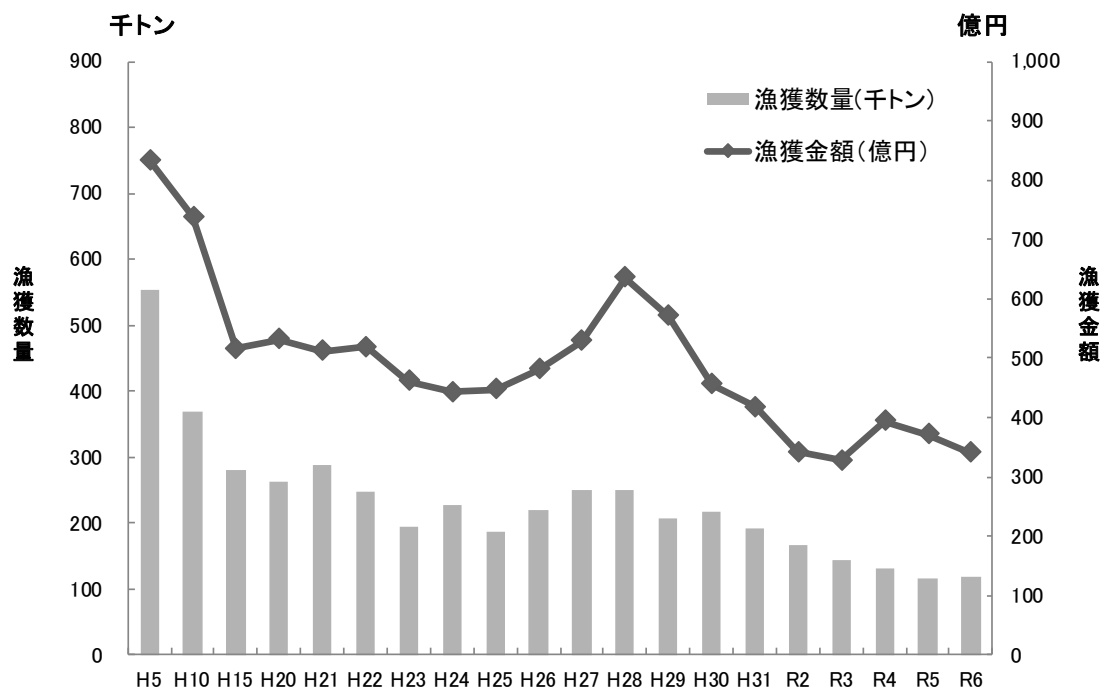
一方、漁獲が低調であった魚種は「ほたてがい」（39.9%）、「するめいか」（62.6%）等であった。

#### (3) 過去10年間の平均との比較（表、図1）

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では7万1,370トン（37.7%）減少し、漁獲金額では1,105万円（24.4%）減少した。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成25年	185,855		44,660	
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,653	△ 0.2	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,104	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
令和3年	144,610	△ 13.5	32,751	△ 4.2
令和4年	131,937	△ 8.8	39,285	20.0
令和5年	116,647	△ 11.6	37,134	△ 5.5
令和6年	117,930	1.1	34,175	△ 8.0
平成26年～令和5年 までの平均 (A)	189,300		45,221	
令和6年／(A)%	62.3 %		75.6 %	



## 2 月別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 月別漁獲数量 (図2、第3表)

令和6年の漁獲数量を月別にみると、6月が3万5,043トンで最も多く全体の29.7%を占め、次いで7月の1万8,523トン(15.7%)、5月の1万2,854トン(10.9%)となっている。

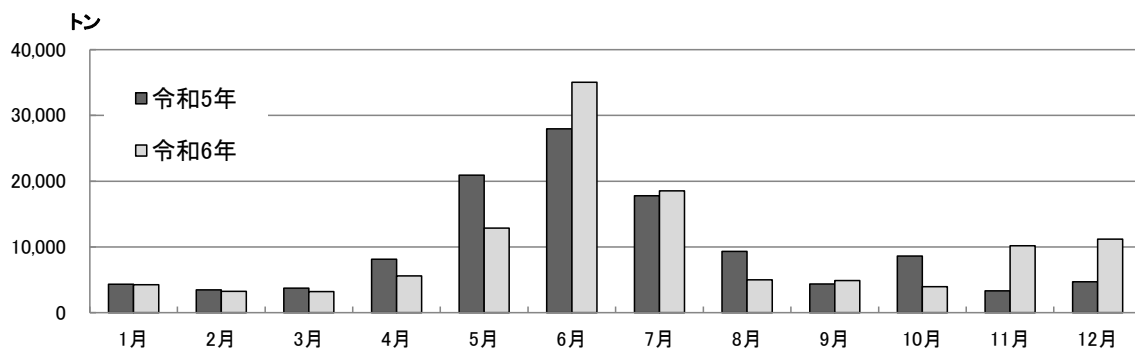


図2 月別漁獲数量

### (2) 月別漁獲金額 (図3、第4表)

令和6年の漁獲金額を月別にみると、6月が62億8,476万円で最も多く全体の18.4%を占め、次いで7月の37億9,396万円(11.1%)、5月の37億5,999万円(11.0%)となっている。

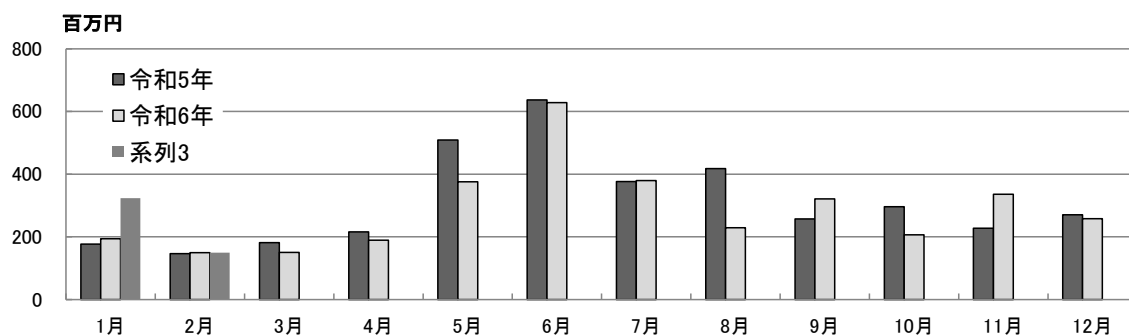


図3 月別漁獲金額

### 3 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

##### ① 分類別漁獲数量 (図4、第5表)

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、まいわし等の「魚類」が7万3,115トンで最も多く、全体の61.9%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」3万1,896トン(27.1%)、「その他の水産動物」1万1,777トン(10.0%)、「藻類」1,141トン(1.0%)となっている。

前年と比較すると、「魚類」は2万6,258トン(56.0%)増加、「貝類」は2万5,259トン(44.2%)減少、「その他の水産動物」は1,302トン(12.4%)増加、「藻類」は1,018トン(47.2%)減少した。

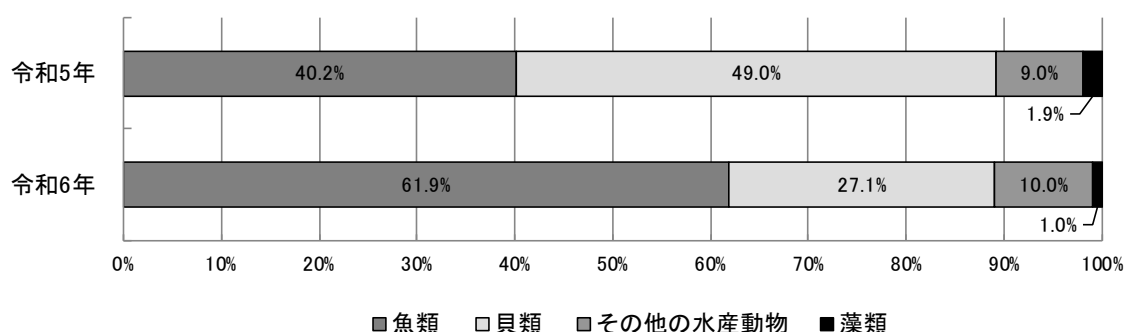


図4 分類別漁獲数量の構成比

##### ② 分類別漁獲金額 (図5、第6表)

漁獲金額を分類別にみると、「魚類」が132億3,965万円で最も多く全体の38.5%を占め、次いで「その他の水産動物」117億8,303万円(34.6%)、「貝類」86億2,817万円(25.3%)、「藻類」5億2,460万円(1.5%)となっている。

前年と比較すると、「魚類」は20億9,677万円(18.8%)増加、「貝類」は51億7,071万円(37.5%)減少、「その他の水産動物」は2億6,255万円(2.3%)増加し、「藻類」は1億4,686万円(21.9%)減少した。

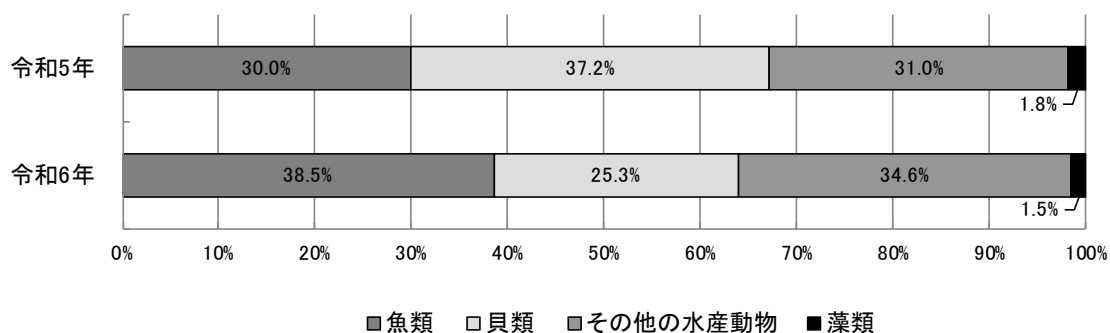


図5 分類別漁獲金額の構成比

## (2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

### ① 主な魚種別漁獲数量 (図6、第7表)

主な魚種別の漁獲数量をみると、「いわし類」が4万1,376トンで最も多く、全体の35.1%を占め、次いで「ほたてがい」3万1,326トン(26.6%)、「さば」1万76トン(8.5%)、「たら」5,142トン(4.4%)、「するめいか」4,973トン(4.2%)、「あかいか」3,399トン(2.9%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加した魚種は「いわし類」のうちの「まいわし」で、1万8,693トン(84.7%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した魚種は「ほたてがい」で、2万5,219トン(44.6%)減少した。

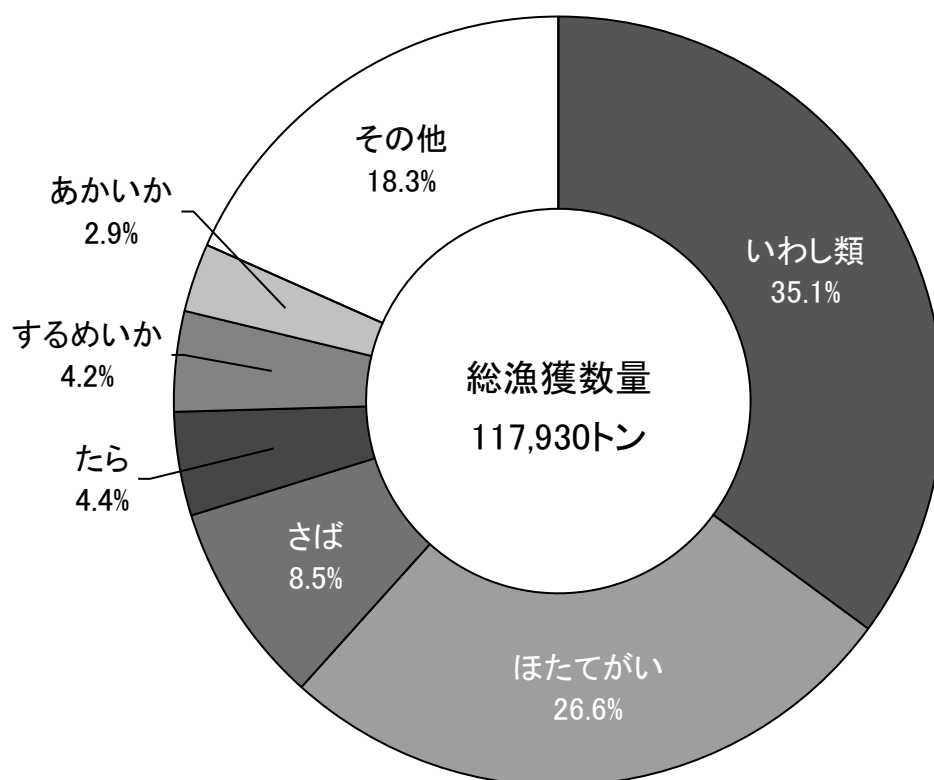


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

② 主な魚種別漁獲金額（図7、第1表、第8表）

主な魚種別の漁獲金額をみると、「ほたてがい」が82億1,757万円で最も多く、全体の24.0%、次いで「するめいか」46億687万円（13.5%）、「まぐろ」24億5,491万円（7.2%）、「なまこ」22億5,232万円（6.6%）、「あかいか」22億3,189万円（6.5%）、「いわし類」22億1,780万円（6.5%）となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した魚種は「いわし類」のうちの「まいわし」で、8億6,877万円（65.7%）増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した魚種は「ほたてがい」で、51億8,553万円（38.7%）減少した。

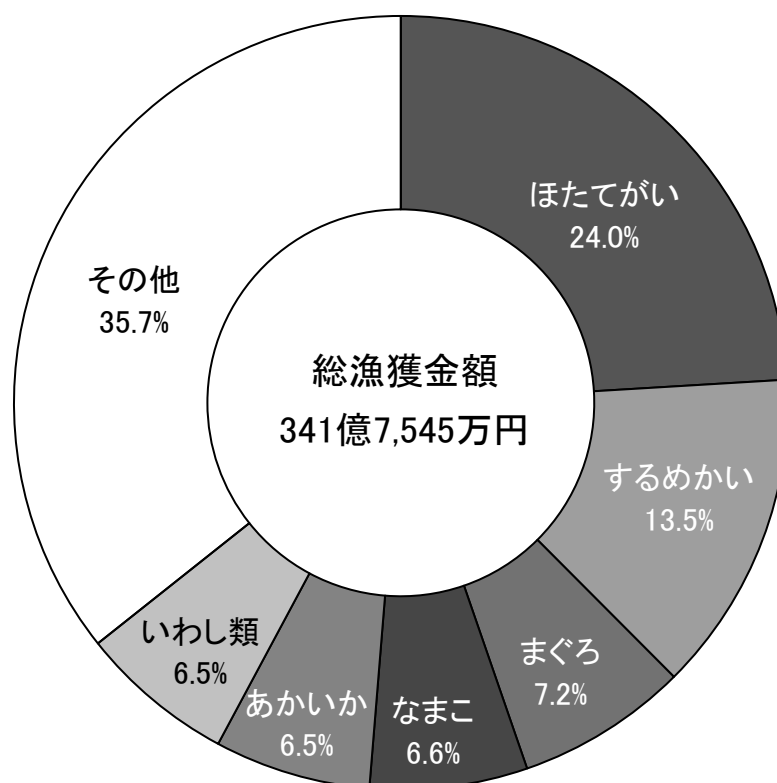


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

#### 4 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

##### (1) 漁業種類別漁獲数量 (第9表)

漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「まき網漁業」が4万7,510トンで最も多く、全体の40.3%で、次いで「養殖業」3万3,936トン(28.8%)、「沖合底曳網漁業」8,700トン(7.4%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加した漁業種類は「まき網漁業」で、2万4,930トン(110.4%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した漁業種類は、「養殖業」で2万3,701トン(41.1%)減少した。

##### (2) 漁業種類別漁獲金額 (第10表)

漁業種類別の漁獲金額をみると、「養殖業」が95億9,775万円で最も多く全体の28.1%を占め、次いで「いか釣漁業」41億2,163万円(12.1%)、「沖合底曳網漁業」36億1,434万円(10.6%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した漁業種類は「まき網漁業」で、17億4,160万円(108.1%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した漁業種類は「養殖業」で、45億1,173万円(32.0%)減少した。



## 5 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 市町村別漁獲数量 (図8、第11表)

市町村別漁獲数量をみると、八戸市が6万4,296トンで最も多く、全体の54.5%を占め、次いで平内町10.3%、外ヶ浜町9.2%、むつ市4.8%、深浦町3.8%の順となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加したのは、八戸市で2万7,036トン(72.6%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した市町村は、平内町で1万8,604トン(60.5%)減少した。

### (2) 市町村別漁獲金額 (図9、第12表)

市町村別漁獲金額をみると、八戸市が116億9,735万円で最も多く、全体の34.2%を占め、次いで平内町12.0%、外ヶ浜町9.1%、むつ市8.2%、大間町5.9%の順となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した市町村は、八戸市で17億5,290万円(17.6%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した市町村は、平内町で39億5,454万円(49.1%)減少した。

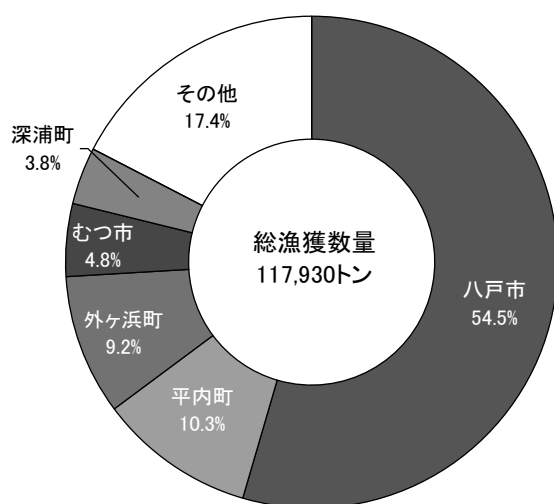


図8 市町村別漁獲数量の構成比

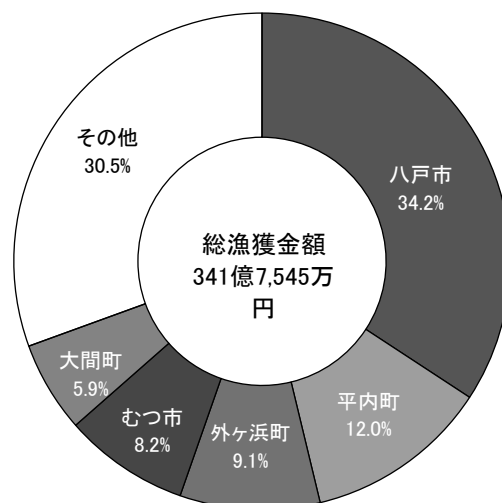


図9 市町村別漁獲金額の構成比